

鮮やかに実ったゆず、丁寧に収穫 11/13

「しずおか食セレクション」認定、作付面積・生産量が県内一の町内で、ゆずの収穫が行なわれました

町ゆず組合は、久保尾区にある樽脇美昭さん(久保尾区=73歳)のゆず園にて、ゆずの収穫を行ないました。

収穫の最盛期を迎えたこの日は、組合員8人が参加し、鋭いとげに注意しながら黄色く鈴なりに実ったゆずを、1個ずつ丁寧に収穫しました。1時間でカゴ3箱以上を収穫し終えると、樽脇さんは「今年は雨が多く心配したが、香りの強い良いゆずができた」と笑顔で話しました。

収穫されたゆずの一部は、ジュースやポン酢などに加工され、県内外に出荷されます。



動画
de
広報

標高約650mの農園に80本ものゆずの木が植栽されています

11/30

自分で考え、投じる1票

選挙権年齢の18歳以上への引き下げを受け、川根高校3年生が模擬投票を体験しました



動画
de
広報

実際の記載台や投票箱を使って模擬投票を行いました

町選挙管理委員会は、県立川根高等学校にて選挙に関する出前授業を行いました。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられるのを受け、来夏に予定されている参院選で初めて有権者となる同校の3年生51人に、町職員が選挙の仕組みについて紹介しました。町職員が「他人任せの政治や社会にしないために、自分で考えて必ず投票しましょう」と呼び掛けると、生徒代表の神谷洸太さん(17歳)は「私たちの代表を決める選挙のため、しっかりと投票に行きたいと思います」と力強く話しました。

不戦と平和への思い新たに 11/14

戦後70年の節目に次代を担う子どもたちが研究などを披露

川根本町戦没者追悼式が町立中央小学校体育館で挙行政され、参列した遺族や関係者約200人が黙とうや献花を行い、冥福を祈りました。

今年は戦後70年を迎えたこともあり、式典前にオープニングとして、中央小学校5・6年生による群読「生きる」と中川根中学校3年西村柚希さんによる「川根本町に残る戦争の跡」と題した研究発表、3年生全員による合唱「ふるさとの四季」が披露されました。

式典で鈴木町長は「平和を誓い、明日の川根本町のため努力していく」と述べました。



動画
de
広報

中川根中学校3年生36人は心を込めて合唱を披露しました

温泉街ににぎやかな声響く

12/6

12/7

1957年12月7日に温泉が初めて湧き出たことを記念し毎年開催

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合主催の「温泉感謝祭・供養祭」が同温泉街イベント広場で開催され、多くの来場者でにぎわいました。

会場では、山の幸をふんだんに使った鍋料理や甘酒、八つ頭などが振る舞われたほか、地元アマチュアバンドや赤石太鼓の演奏や「第10回和紙のあかり展」受賞作品の展示が来場者を楽しませました。また、てんぐや山伏にふんした組合員やたいまつを持った地元住民らが温泉街を練り歩き、無病息災と温泉街のさらなる発展を祈願しました。



温泉街を練り歩いた後、会場内のたいまつに点火するてんぐ

11/11

長年の社会教育への功績をたたえて

社会教育功労者表彰の石山さんが、町長・教育長に受賞を報告しました



11月2日に開催された表彰式の様子も報告した石山さん㊤

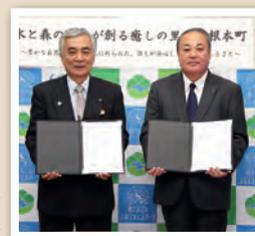
本年度の文部科学大臣社会教育功労者表彰を受賞した石山貴美夫さん(藤川区=61歳)が役場本庁舎を訪れ、鈴木町長・大橋教育長と会談しました。石山さんは、平成8年度から昨年度まで19年間にわたって旧中川根町・川根本町の社会教育委員および同委員長を務め、町の社会教育の振興に尽力されました。石山さんが「受賞は非常に光栄なこと。皆さまのおかげ」と喜びを伝えると、鈴木町長は功績をたたえた上で「これからも町の社会教育のため力になっていただければ」と期待を寄せました。

地方創生の推進へ協力体制を確立



㊤島田信用金庫の市川公理事長

島田信用金庫および静岡銀行と「地方創生に係る相互協力及び連携に係る協定」を締結しました



㊤静岡銀行の吉沢一秀専務執行役員中部カンパニー長

町は、島田信用金庫および静岡銀行と「地方創生に係る相互協力及び連携に係る協定」をそれぞれ締結しました。11月5日に島田信用金庫の市川公理事長が、12月4日に静岡銀行の吉沢一秀専務執行役員中部カンパニー長が役場本庁舎を訪れ、締結式を行ないました。

締結式では、町と両金融機関が協定書に基づき、地域の産業振興や中小企業の支援などについて連携・協力して取り組むとともに、創業・就業支援や雇用対策を積極的に推進するための協議・調整を行っていくことを確認しました。

【問】企画課・まちづくり室 ☎(56)2221